

キャラクター名 ブラック・ムトー	プレイヤー名
---------------------	--------

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子		
生まれ	魔術師	性別	男	年齢	17
冒険者Lv	11	経歴	配偶者がいた（前世）		
経験点	460		5つ以上の地方に行ったことがある（前世の経験含む） 異性の家族がいない		

技	6	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	3			9	1		ソーサラー		11
体	7	敏捷度	5	7		18	3	コンジャラー	7		
		筋力	9	4		20	3	プリースト/クリスカコア	4		
心	14	生命力	5	3		15	2	フェアリーティマー	4		
		知力	3	17		34 + 2	6	バード	2		
		精神力	4	8		26	4	ウォーリーダー	5		

戦闘特技		言語	会話	読文
ルーンマスター	IB34 p	交易共通語	○	○
魔法誘導	223 p	魔法文明語	○	○
魔法収束	IB39 p	妖精語	○	
魔法制御	IB32 p	ザルツ地方語	○	○
魔法拡大/数	IB39 p	リーゼン地方語	○	○
ダブルキャスト	IB37 p			
魔力強化	IB32 p			
	p			
	p			
	p			
	p			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
レジスタンス	
ビビッド	
軍師の知略	
神速の構え	
怒涛の攻陣Ⅱ旋風	
鉄壁の防陣Ⅱ堅体	
強靱なる丈陣Ⅱ精定	
幸運の星の導きを知る	
幸運は富をもたらす	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	プレストアーマー+1		20	0	6
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値	0	7	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
戦旗槍 (ジャベリン)	1 h 投	5	-2	2d+ -2	10	0	10											
戦旗槍 (ジャベリン)	1 h 投	5	-2	2d+ -2	10	0	10											
戦旗槍 (ジャベリン)	1h投	5	-2	2d+ -2	10	0	10											
マナスタッフ	2H	3	1	2d+ 1	12	0	13											
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+ 0	7	50

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 11	2d+ 13	2d+ 15	106

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	11	20			
操霊魔法	7	16			
深智魔法	7	20			
神聖魔法	4	13			
妖精魔法	4	13			

装備品	説明
頭 栄光の軍師徽章	鼓砲をランク2から使えるが、一回限り。
耳 心の絆の耳飾り/数多:聖印	ルコとMPがダメージをやりとりできる。借り物
顔 宝石ケース	妖精魔法行使に必要な宝石を4つ収納
首 勇者の証:心	能力値成長をある程度コントロールする
背中 フード付きサーマルマント	特注。炎と水氷ダメージ-1、避暑耐寒効果
右手 マナリング	攻撃魔法で与えるダメージ+1
腰 ブラックベルト	防護点+1
足 古代光魔の印	手に持つ武器や道具を補助動作で収納可(2つまで)
その他 光魔の印	古代光魔党の秘伝が使える発動体

装備品	説明
左手 叡智の腕輪	知力+2

その他メモ	自動失敗
理想の嫁を探して諸国を絶賛放浪中のハイマン少年。小賢しい頭と、どこか達観したお気楽な感性を併せ持つ。前世だか先祖の記憶だかのデジャヴで出てくる暇の恋人が理想だが、現世に転生している可能性（&出会い結ばれる可能性）は限りなく低いので、目下ただの妄想の域を出ない。	チェック
種族補正のおかげで美形の部類、かつ女性に興味津々なのだが、言動が残念なせいでモテない。	□□□□⑤
	□□□□⑩
	□□□□⑮
「前世の知識のおかげでなんとなく使える便利な技」として魔術を扱っており、技量の向上には熱心だが理念や理論には興味がない。	□□□□⑳
どこで覚えたやら医者らしい事ができる（研修医レベルであるが）	□□□□㉑
	□□□□㉒
食いつなくために短期の雇われ兵士として働いていたことがある。勤がいいので規律や作法などは速やかに会得したが、訓練を嫌ってサボっていたので戦士としての技能は身につかなかった。ちなみにこの傭兵時代にルコと知り合い、何となくつるむようになる。	□□□□㉓
	□□□□㉔

